

各位

(一社) 日本環境測定分析協会  
放射能測定分析技術研究会

## 放射能測定クロスチェックについて

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質の対策が行われる中、その測定における技術や精度管理の確立が重要であると考えられ、(一社) 日本環境測定分析協会では、「放射能測定分析技術研究会」を立ち上げました。今般、その活動の一環としてクロスチェックを下記のように実施いたしますのでご案内申し上げます。

### 記

1. 試験番号 RADI2012-01
2. 試験名 平成 24 年度第 1 回放射能クロスチェック
3. 試験項目 セシウム 134 及びセシウム 137
4. 分析方法 別紙 1 による
5. スケジュール
  - ・申込受付 平成 24 年 8 月 1 日から **9 月 7 日**
  - ・試料配布 平成 24 年 10 月 1 日から 10 月 2 日
  - ・結果報告期限 平成 24 年 10 月 19 日
  - ・報告書の発行 平成 24 年 11 月 31 日
6. 参加費  
会 員 : 28,000 円  
参加費の払い込みは、「払込取扱票」を試料と一緒に送付しますので、「払込取扱票」を使用して、郵便振込としてください。試料到着後、極力早めをお願いいたします。
7. 実施要領、申込方法  
実施要領は、別紙 1 に示すとおりであり、申込は別紙 2 の申込書を用い、メール（やむを得ない場合ファックス）で下記連絡先まで送ってください。  
試料調製の都合上、試料は、1 事業所 1 個とさせていただきます。
8. 連絡先  
(一社) 日本環境測定分析協会 放射能測定分析技術研究会事務局  
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル  
TEL : 03-3878-2811 FAX : 03-3878-2639  
E-mail : radiken2012@jemca.or.jp

## 別紙 1

### クロスチェック実施要領

1.試験番号 RADI2012-01

2.試験名 焼却灰中の放射能濃度

3.試験項目及び濃度範囲

試験にあたっては、下記の濃度を参考にしてください。

試験項目	濃度範囲 Bq/kg	備考
$^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$	20～1000	約 150g ビニール袋入り

4.試料の調製法

焼却汚泥を均一混合し、試料とした。

5.試料の配布

Cs-134 及び Cs-137 を含む試料 1 種類

宅配便で送付します。

6.試料の保存

放射線量は低いため、特別な管理をする必要はありません。

7.分析方法

試料は、ビニール袋入りですので、各自測定容器に詰め測定してください。

測定は、ゲルマニウム半導体検出器、または NaI シンチレーションスペクトルメータをもちいて、 $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$  それぞれの放射能濃度または含量 ( $^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}$ ) の放射能濃度を Bq/kg の値で測定してください。また、別途、含水量を測定し、乾重量換算を行ってください。

試験方法は、文部科学省の放射能測定シリーズ 7 「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」平成 4 年改訂 に準拠

これ以外の分析方法またはゲルマニウム半導体検出器ではない場合は、分析方法を記載してください

## **8.結果の報告**

測定結果は、入力表を参加者にメールで配信します。

## **9.報告期限**

平成 24 年 10 月 19 日まで（厳守してください）

報告は、メールで事務局へ送付してください。